

## 画家の肖像

或る画家について記したい。  
その画家は無名の画家である。  
おそらく美術史に彼の名前と作品は残らないだろう。

彼は平凡な画家である。  
美術史に対して敬意を持っており、それらの普遍性についてある程度認めている。  
そのため美術史を無視して通俗的な絵を描こうとはしない。  
絵画について既成の論理や方法でしか表現できないと考えており絵画という形式においてその限界の中で表現しようと試みる。  
それらは前衛的ではなく彼の美術に対する姿勢は頑なで時流から無縁と言ってよい。  
その作品は美術の中心からは遠く隔たった周縁に存在する。

彼は平凡な風景を描く。  
その風景のイメージはありふれていて匿名である。  
雑誌やインターネットから偶然飛び込んできたイメージでモチーフを決める。  
その場所には行ったこともないし知りさえもしない。生涯その場所に行くこともない。  
彼はイメージを元の文脈から切り取りそれを逆さまに描く。  
主張や抒情といったものを取り払い小賢しい意志を取り払うことで絵画自体のいわば裸形の筆触や絵の具の痕跡を表すことが出来ると思っているのだ。

### 「どこでもない風景」

それは遠く隔たったところに存在し、その無機質な感覚・イメージを彼は捉えようとする。  
あらゆるものが交錯し移りゆく世界で省察する時、その同じように無化された存在は彼自身と重なる。  
そこに現れた匿名で無機的な風景は彼自身の肖像といえる。

宮岡俊夫

BASE GALLERY / MATRIX JAPAN S.A.  
103-0025 東京都中央区日本橋  
茅場町1-1-6 小浦第一ビル1F  
tel : 03 5623 6655  
fax : 03 5623 6656  
info@basegallery.com  
www.basegallery.com